

No.	資料該当ページ	まちづくり分野	内容
1	P42	①農商工産業振興	SDGsの関連づけにおいて、持続可能な消費生産形態を確保するという観点からGoal 12の「つくる責任、つかう責任」も該当するのではないかと考えます。
2	P42	①農商工産業振興	町の近郊農業の優位性を生かした次代に継続発展する農業体制づくりが必要(地産・地消 / 地域農産物のブランド化、農業従事者の収入増の取り組みをめざす。)その視点を盛り込むべき。
3	P42	①農商工産業振興	産業振興について、町民事業所と住民の交流の推進が必要 (P-46 / 新しい市街地の取り組み : どちらかに挿入する) ① 事業所や工場見学のPRや事業案内出来る仕組みづくり、事業所の企業案内等 ② 住民や町外からの町内企業への就労を促進する(町内産業全般についての情報発信) また、TTP協定発効後、町の農業に影響はあるか。
4	P42	①農商工産業振興	「現状と課題」として「農地の保全や農家に対する支援を行っていくことは重要」(42ページ下から4~3行目)とありますが、これは市街地の緑環境などとも結びついてとても重要な施策と思います。成果指標の「直売所」が上記の目標を反映するものとは思えず、町の魅力に直結する分野でもあるため、成果指標により踏み込んだ目標を設定してはどうでしょうか。 また、成果指標で「商工会会員数」を上げていますが、加入率でなく会員数を目標にする理由は为什么呢。
5	P42	①農商工産業振興	p42の「町内商工業の経営安定と活性化」には、p14関連で、ウィズコロナ、ポストコロナの現況認識と課題も必要では無いでしょうか。
6	P42	①農商工産業振興	p42の「農業の継続・後継者不足」は、本文に後継者不足に係る記載はなく、施策の成果指標も農産物直売所を1カ所維持するのみで、地元農家支援は良いのでしょうか。
7	P43	①農商工産業振興	地産地消の促進の観点より、農産物直売所数だけでなく、住民の地元商店の利用率を成果目標に加えてはいかがでしょうか。
8	P44	②観光	観光資源の掘り起こしや活用によって観光入込客数の増進を図る。 ① 駅前自転車駐輪場にサイクリング拠点づくり(桂川河川敷等道路を活用して観光の掘り起こしを)
9	P44	②観光	p44の訪日外国人の誘客対策は慎重な表現ですが、p45の成果指標の目標は、ほぼ倍増です矛盾していないでしょうか。
10	P45	②観光	成果指標で「大山崎町への愛着」を挙げていますが、町民アンケートの「大山崎町への愛着」の項目であるとするならば、観光政策の指標としてはふさわしくないと考えます。町への愛着があるかと問われれば、ふつう人的なつながりなどから判断し、観光地としての町の評価を基準にして回答することはありません。「現状と課題」に「観光の取り組みが町民の町への誇りや愛着を醸成する」とありますが、名勝のない円団地域に住んでいる身としてはまったく当てはまらないと感じます。
11	P45	②観光	大山崎町のシンボルとも言える天王山を全面にPRして観光客の呼び込みを行うことが重要と思われるので、天王山のハイキングコースの整備について成果指標に挙げられないかご検討いただきたく存じます。

No.	資料該当ページ	まちづくり分野	内容
12	P46	③市街地整備	P46②について、3～4年前にワークショップに参加しましたが、まだ「あったらいいな」のワークショップかと思いませんでした。今回は5年先の計画ですので、もう一歩前に進めて頂きたいと思いい次のような変更を検討願いたい。 3行目の等以下を「町の核・拠点の形成に向けて、町民目線の意見を取り入れた基本構想（また計画）策定のための重要な機会となっています。」 以上ですが成果指標が数値なければ、計画作成を指標にしてほしいほどです。
13	P46	③市街地整備	「将来のめざす姿」に「自然を身近に感じられる住環境が…」とありますが、「現状と課題」などに「自然を身近に感じられる」に該当する問題意識・提言がみられないです。「住みやすい住環境」とか「安心できる住環境」などのほうがふさわしいのでは。 「現状と課題」に「諸機能の集積・集約を図っている」とありますが、これは具体的には何を指しているのでしょうか。公民館老朽化にともなう複合化程度であればいいのですが、大山崎町はもともとがコンパクトな町で、これ以上の集積・複合化は周辺地域から公共施設が遠のき、不便をきたします。これ以上の集積・集約を目指す必要はないのではないのでしょうか。
14	P48	④道路・公共交通	特に町が管理する道路について、橋梁などの構造物における老朽化対策、長寿命化対策について記載が必要ではないのでしょうか？ 公共交通の利便性が低いというアンケート調査の結果を受け、町域内に限定したようなMaasの取り組みなどは検討されていないのでしょうか。
15	P48	④道路・公共交通	高齢者の超増加の現象が生まれることから円滑な町内移動の方法を検討する必要がある。 (例：デマンド乗り合いタクシーを運行し、路線バスとの連携によって合理的、効率的なネットワークの形成を図る等)
16	P49	④道路・公共交通	安全で安心して生活できる道路整備の観点から、道路のバリアフリー面積を成果目標に加えてはいかがでしょうか。 通行障害、景観の悪化などの改善の観点から放置自転車台数の減少を成果目標に加えてはいかがでしょうか。
17	P52	⑥ 下水道	SDGsの関連づけにおいて、下水道の普及により河川の水質が改善され、海洋および海洋資源を保全することにつながることから、Goal 14の「海の豊かさを守ろう」も該当するのではないかと考えます。
18	P52	⑥下水道	町内の過去の事件事例を参考して又近年の集中豪雨の発生など低地に位置する地域では治水、内水排除対策(内水氾濫)は非常に重要である。激しい豪雨の視点を盛り込む必要がある。